

12年度

第11回

9月3日

福祉・健康の集い!



記念講演

有吉寛先生のお話しに、“元気、ハツラツ!”



“アワサンプル”で行くまいか!

老人クラブの伝説!?バンドの演奏。
若いもんには、負けられません!



桂綾子・聡子姉妹コンサート

フルートのやさしい調べに、
しばし“うっとり?”



中学生もボランティア

郡内の作業所の販売のお手伝いに、
いっしょうけんめい!



チャリティバザー

集いの最後は、バザーで締めくくり。
にぎわってます!

13年度

第12回



ボランティア表彰

現在の社協の「礎」を築いてくださった方々の表彰が行われました。

保健福祉センターができて2年目を迎え、社協や役場の事業の紹介コーナーも設けられました。小さなこどもたちも、元気に遊びながら参加。「ふれあい」も勉強の場です！

9月2日

福祉・健康の集い！



ハーツで小物づくり！

センターで育てたラベンダーをつかって、かわいい小物づくり。



お弁当はいかが!!

社協の「配食サービス」のお弁当を試食してもらいました。



小さなこどもたちも、「福祉」の集いにいっしょに参加。

楽



リサイクルでつくりました

王寿会のリフォームサークルのみなさんの手芸作品。力作ぞろいです！

13回目を迎えた福祉・健康の集い。
サザエさんのマスオさん役でおなじみの増岡弘さんの記念講演が行われ、
和やかな雰囲気で開催されました。

14年度

第13回

9月8日

福祉・健康の集い！



脳刺激教室の皆さんのステージ

手話で「ふるさと」などを発表。
日頃の成果の見せどころです！



介助犬とふれあおう！

視覚に障がいをもたれた皆さんを理解しようと、
介助犬の実演コーナーも設けられました。



中学生の福祉ポスター展示

福祉・健康の集いを盛り上げようと、
夏休みに一所けんめい描いてくれました。



じいちゃんたちも頑張ってます！

子どもたちに喜んでもらおうと、竹と
んぼや竹うまなど、昔のおもちゃを
いっしょにつくり交流しました。



社協サービスの紹介コーナー

センターも3年目を迎え、それぞれの
事業も充実してきました。

福祉・健康の集い1

15年度

9月7日

第14回

第14回目の福祉・健康の集いは「障がい」をテーマに開催。誰もが住みよい村づくりをともに考えました。



金沢栄東ライブコンサート

全盲のブルースシンガー 金沢栄東さんのライブ。カブよい音色に息を飲みました。



「やさしい村、居心地のよい村」

松本市障害者自立支援センターの降幡和彦さんをお招きし記念講演。だれもが安心して暮らせる村づくりをともに考えました。



手づくりハガキはいかが！

中学校福祉部のみなさんが、牛乳パックをつかって手づくりのハガキを作成。



お年寄りって、たいへんだね！

お年寄りや障がいをもたれた方の疑似体験コーナーが設けられました。

マイはしづくりに チャレンジ！

じいちゃん先生たちが、こどもたちにひのきの箸けずりの「技」を伝授。

第15回

16年度

第15回 福祉・健康の集い

午前中は雨天のあいにくの天気でしたが、スタッフも含め約二百三十名が参加。今年度は「笑いでイキイキしあわせづくり」がテーマでしたが、数多くのボランティアのみなさんのご協力により笑いの溢れる集いになりました。



脳刺激訓練教室の皆さんが日頃の訓練!?
の成果を発表



桜小路富士丸 大道芸パフォーマンスショー
富士丸さんのバイタリティー溢れるパフォーマンスに圧倒！笑いの渦にあっていう間の一時間。パルーンアートや似顔絵描きを楽しみました。

9月5日

「笑い」でイキイキ しあわせづくり

中学生が手話で森山直太朗の
「さくら」の歌を発表
一所懸命練習し、心のこもった発表に会場
から大きな拍手が上がりました。

ごたくらぶのメンバーやボランティアが中心になって、ひのきの枝つえを作り無料で配布。



記念講演

「笑いでイキイキお茶の間健康法」をテーマに浜松医科大学名誉教授高田明和先生に笑いの効用について講演いただきました。



社協会長表彰

日頃の福祉活動への積極的な取り組みに対し、王滝中学校、王滝小学校の皆さんに感謝状が贈られました。



ストレッチポール体操

丸太のような棒を使った体操ですが、ただの棒だと侮るなかれ！背骨がシャンとし、体が軽くなりました。



皆さまのご協力で七万八千四十円の売上げを上げることが出来ました。売上げは村内の福祉に生かされます。

ヤ イー

17年度

9月4日

福祉・健康の集い

16回目を迎えた今年は、「がんばって元気にやらまい！」をテーマに、講演会やふれあいステージをはじめさまざまな企画が行なわれました。好天にも恵まれ、活気に満ちた集いにすることが出来ました。

第16回

木曽高吹奏楽部コンサート



こころのこもった演奏に か・ん・ど・う！
心があったかくなりました。



小学校3年生が元気にうたやリコーダーの演奏。会場をなごませました。

元気、

元気

地域医療はたいじょうぶ!?
診療所伊東先生との楽しいひととき



リズムにあわせてみんなで体操！
うきうき、にこにこ、自然に楽しくなりました。

ほかに、小物づくり、アロマ体験などの体験コーナー、食改のみなさんの試食、施設や学校、個人、団体のみなさんの展示販売など15のコーナーが出演。盛りだくさんの内容になりました。



小中学生がいつものようにお手伝い！
たくさんのボランティアのみなさんのおかげで楽しい集いにすることが出来ました。

おいちゃんたちと一緒につくった竹馬、ちゃんと乗れたかな？



手をつなごう!

第17回

感じるぬくもい こころの輪

「和」18年度

福祉・健康の集い

今年の福祉・健康の集いは、好天にも恵まれ250名の方が参加。午前の記念講演、午後のふれあいステージを柱に、チャリティーバザーや、体験コーナー、展示・販売コーナーでは村外の施設等からも出店いただくなど、多くの方々の「和」(輪)で充実した一日となりました。

9月3日



諏訪中央病院
高木宏明先生

記念講演

『知って安心
認知症でも
だいじょうぶ』

認知症になっても安心して暮らせるやさしい地域、「地域の輪」をテーマにお話しいただきました。認知症の正しい理解、特に、認知症の方の感情はとても豊かで、「よい感情」を多くもってもらうことで状態は安定するが、「悪い感情」は心に残り、状態を悪化させるという話はとても印象的でした。ギター片手に長渕剛の歌を熱唱しながらの講演に思わず引き込まれ、あっという間の70分間でした。



大賞 第1位
「大根足はお好き?」

いろんな表情
写真コンテスト

「こんないいところ見つけたよ!」をキャッチフレーズに、ひとりひとりの魅力を再発見しようと企画したコンテスト。今年は「大根足」が1等賞になっちゃいました。



どんぐり村の動物園

じいちゃんたちが山から切ってきた木の枝や木の実を使い、こどもたちが思い思いの動物のマスコットを作りました。



オリジナル
マスコット誕生!!

チャリティーバザー



二年に一度のチャリティーバザー。掘り出しものは見つかりましたか?(売上げは有効に活用いたします。)

ラベンダーのにおい袋や壁かけづくりにしばし熱中!(ラベンダーの摘み取りにはデイサービスのお年寄りも協力してくれました。)

ラベンダーの小物づくり



手芸小物~どれも力作!



老人クラブの皆さんが当日に合わせ手づくりの手芸人形を製作し、展示・販売。

出店



屋外の出店にこどもたちが殺到!

9月2日

第18回

19年度

福祉・健康の集い1

ちがう個性 ひとひひとひが輝いて
支えあえたらあてきだね!

福祉・健康の集いは、今年で18回目を迎えました。
参加者のうち約150名のみなさんが、自らも実行委員
やスタッフとして企画や準備に携わり、小中学生も
お手伝いに大活躍! ともに作り上げる“集い”
として充実した一日となりました。

どうしました!?

こちら王滝診療所です



ふれあい
ステージ

マンドリン



田中千秋
あかかぶらコンサート

童謡や歌謡曲を
いっしょに口ずさ
みながら、マンド
リンの音色にしば
し、しみじみと聴
き入りました。

小澤征爾のオペラにも出演さ
れた田中さん。王滝の赤かぶ
りがご縁となりボランティアで
出演いただきました。

診療所の山口先生の「健康〇×
クイズ」に大盛り上がり! 健康
について普段あたりまえと感じ
ていても、勘違いしているこ
とって結構あるんですね。



おいしそう!

ボランティアのコーナーでは、手づくり
パンの試食やお化粧体験が行なわれまし
た。あなたも自分の個性を生かしてでき
るボランティア見つかりましたか?



なに色が好き?

個性の再発見をテーマ
に、好きな「色」を選んで
相性診断!

災害時を想定し、便利な
袋ハイゼックスと、水の
かわりにお茶や保存食を
つかったご飯の炊き出し
を実演。キムチご飯もな
かなかでしたよ!

村外からも参加



上松荘のみなさんの肥料よく売れまし
たね! 村外からは共同作業所や養護学
校など、障害をもたれた方もいっしょ
に参加され、交流しました。

べんいな非常食!



福祉・健康の集いは、共同募
金の配分金や会員の皆さまの
会費で行われました。

ちゃんと
すぐえたかな?

屋外では手づくりの出店に
こどもたちもいきいき!

ほっと 安心

第19回

9月7日

20年度

こころの絆、地域のきずな

福祉・健康の集い！

今年も福祉・健康の集いが盛大に行なわれました。
福祉・健康の集いは、わたしたちの身の回りの暮らしを見つめ直し、福祉や健康のあり方についてともに考える、年に一度の機会です。

記念講演

高齢化社会もよくある虹の仲間

野原 あみれ さん

ゆといでみんなしあわせ！

『がんばらなくても いい介護』

「介護者が元気でないとい介護はつづかない！ 介護の心得の第一は、介護者自身の健康を良好に保つこと。」と、『がんばらない介護』のことはの生みの親でもある野原先生が熱心にお話してくださいました。考えてみれば当たり前、でも、ついつい見落としがちなることを見つめ直させていただきました。

あてきな出会い！



ふれあい ステージ

アフリカの太鼓と踊り ～サブニマコンサート～

見られないアフリカの太鼓や踊りにちょっとびっくり！ 最後は、会場のこどもたちがステージの前でいっしょに手をつなぎ、ダンスに加わりました。手と手のぬくもりで心がひとつにつながりました。

オペレッタ



小学2年生 のうたと劇

ちいさな魚たちが海の中で助け合う物語『スイミー』を、うたと劇で元気いっぱい披露してくれました。

体験 コーナー

住まいの環境 はたいじょうぶ？



「転ばぬ」先の杖！？

お年寄りの事故の大半は住まいに関係する場所で起こっており、また、転倒により骨折した場合、寝たきりになる可能性が非常に高くなります。会場に手づくりの模擬ルームがお目見えし、部屋の中の危険な箇所を体験！ 危険を軽減するさまざまな補助器具も紹介されました。



心にたまったストレスや、自分なりのリラック方法を考えるコーナーも設けられました。

不安？
安心？

あなたは 何ができる？



救急法

「AED（除細動機）は、心配停止の時、音声の指示に従えば誰でも使えます。村内には三箇所に設置されています。日赤や広域消防の方から使い方を教えていただきました。」

展示・販売 コーナー



郡内からは、こまきワークセン
ター、みやまの家、マインド会の
みなさんが物品販売で参加。三浦
貞夫さん、木曾養護学校の作品展
示も行なわれました。

っ

王滝には障がいを持たれた方の施設などがな
いので、年に一度の楽しい交流の場ですね！

愛着のある作品がいっぱい！

老人クラブのリフォーム
サークルのおなじみの作
品展示。古い着物の生地
を使った手の込んだ人形
さんや、新聞紙を使った
「魔法」の花器が並べら
れました。



笑顔で“いらっしゃいませ！”

売上げ金 125,567円の
内、56,151円を社協へご
寄附頂きました。その他、
21,157円は地域での福祉
活動などに活かされます。

チャリティー マーケット



気に入っていただけました？

時間をかけて集められた流木
も販売。どれも表情豊か！

個性的な作品が勢ぞろい！

地域のみんなで支えあい！

今年度はじめて試みられたチャリ
ティーマーケット。手づくり作品
や王滝の特産品、子ども用品、日
用品、野菜のパザーなど、7つの
団体と、多くの個人の皆さまから
出店や出品をしていただくことが
できました。



ボランティア 活動

出店のボランティア
さんも大忙し！

福祉・健康の集いは、参
加者の皆さんがともに協
力し参加するイベントを
目指しています。今年
も、実行委員や村内の団
体の皆さん、小中学生を
はじめ、数多くのボラン
ティアの皆さんのご協力
をいただきました。



緑の下の
ちから持ち！

毎年、おいしいおむすびありがとう！





（上）参加者も木曾踊りで
参加（左）お年寄りに教
わった歌詞の意味を発表

ふれあい
ステージ

小学校1、2年生が緊張しながら習いたての木曾節を披露！

9月6日

福祉・健康の集い！

声かけ合って
地域のつながい
“あったか家族”

福祉・健康の集いは今年で20回目を迎え、地域のつながりやひととひととの絆をテーマにさまざまな催しが行われました。こどもからお年寄りまでが一堂に会し、ともにふれあい学びあえる一日となりました。



小学校1、2年生はステージのために、夏休みの間にじいちゃん、ばあちゃんから木曾節を教してもらいました。聞きなれない節回しに戸惑いながら、いしょうけんめい練習。また、昔は楽しみが少なく、盆には木曾節を朝まで踊り明かした想い出話なども聞かせてもらい、世代を超えた交流と伝承の貴重な体験となりました。



外から見た王滝

『これなにいいとこ 違うこと』

エリック・カニングハムさん

エリックさんは学術のために来日し、村で生活しながら現地調査をしており、学校で英語補助教師もしています。地域の魅力について知ると共に、「違い」を認め合える地域づくりを目指して、王滝村のひとと文化について語っていただきました。



つ
小
花
物

体験・
交流！



ふれあいアトラクション

じいちゃんたちが山から木を切ってきて、ペンたてや音の出るセミのおもちゃを教えてくださいました。



（チャリティー出店）

挑
戦



王寿会手芸作品展示

ばあちゃんたちの知恵と工夫がいっぱい！

記念講演

弱いから～素敵なあなたがいる！

『命の光を大きく輝かせるために』

「違い」は大切な宝。違った人に会うからドラマがある。・・・生まれて来なくてよかった命なんてひとつもない。ひとは存在そのもので人を励ましている。・・・フィルタ越しに人を見ていると本当の「人」は見えない。「学び」とは人を蹴落とすためではなく、人がしあわせになるためのもの。・・・見えないところにある大事なものの、それは命。今は大人が生きてうらいたく、当然子どもし、慌しい毎日だが、時には

「違い」は大切な宝。違った人に会うからドラマがある。・・・生まれて来なくてよかった命なんてひとつもない。ひとは存在そのもので人を励ましている。・・・フィルタ越しに人を見ていると本当の「人」は見えない。「学び」とは人を蹴落とすためではなく、人がしあわせになるためのもの。・・・見えないところにある大事なものの、それは命。今は大人が生きてうらいたく、当然子どもし、慌しい毎日だが、時には



映画『学校』原作モデル／元夜間中学校教諭
松崎 運之助 先生



目を凝らして熱心に聴き入る面々

みんなでこころをひとつに！

輪切りにした木の枝や松ぼっくりなどを使って大きな壁画を作成。来場されたみなさんと自由に図案を考えて、力を合わせてひとつの作品に仕上げました。



作業所

販売



郡内作業所より出店していただきました。手芸小物、クッキー、肥料など、毎年人気があります。

支え合い！

チャリティーマーケット

今年は5団体、4名の出店と、多くの皆さまからバザー用品の提供をいただき、売上げのうち62,718円が社協へ寄附されました。



チャリティーマーケットでは、村の特産品、手づくり作品や、野菜、日用品、学童用品のバザーなどさまざまなコーナーが設けられました。

ボランティア



小中学生も協力！

屋外の出店販売、すてきな笑顔で「いらっしゃいませ！」



奥さま方も大活躍！

毎年おいしいトン汁とおにぎり、ありがとうございます。



おばあちゃんも大変！

デイサービスで、しそジュースに使うしその葉をもらいました。

記念講演



第21回

今年の福祉・健康の集いは、ひとりひとりが心のゆとりについて見つめ直すとともに、他人への思いやりあふれる地域づくりを考える機会になればと、「ゆとり」をテーマに開催されました。

つゆ だんろく
落語家の露の団六さんによる記念講演では、ダウン症の兄との人情味あふれる体験談をお聞きし、ひとりひとりの「個性」や「幸せ」の意味についてともに考えました。

9月5日 22年度 福祉・健康の集い

見つめよう！心の「ゆとり」



ふれあい ステージ



伝統の『巫女舞』。伝え、伝えられ・・・、互いに地域のきずなを確かめ合う機会になりました。



オカリナの音色に合わせ・・・

なつかしい童謡や唱歌を会場でいっしょに合唱！ 塩尻市の越山貴雄さんによるミニコンサート。

小学生による「こどもステージ」
子どもたちのいっしょう懸命な姿と、純真な歌声に心をひかれ、老いも若きも「パワー」をもらいました。



発見！



屋外では、子どもたちがいいちゃんと手づくりの楽器作りをしたり、参加者がともにふれあい楽しみました。

体験！



なりきり衣装で記念撮影！



会場では、世界の国のさまざまな暮らしを紹介し、「幸せ」のあり方や心のゆとりについて見つめ直す「コーナー」も設けられました。

23年度

第22回

福祉・健康の集い!



記念講演

『ともに生き、ともに学び』

9月4日

～人と人が調和して～



(上) 希望を
をのせて～来場者の皆さん
で大きな風を制作

「悲しみ」や「苦しみ」

は、誰からも好かれる。

「ささい」が素直に言える人

「ど、ありがと」の素直に

意識すること。いろいろあるけど、

「生きている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを

意識すること。いろいろあるけど、

「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること

は、「生かされている」ことを意識すること



僧侶・ライフアドバイザー

松崎 育子 (まつざき せいこ) さん

ひと時になりました。

て見つめ直す貴重な

がえのない「命」につい

ともに学び合い、かけ

い、人にさせてもいけな

人、人にさせていかなこと

と、話を聞くことが大切。

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

「学ぶ」ということ

何気ないあなたの笑顔で
そっとつながるやさしい地域



ふれあい
ステージ

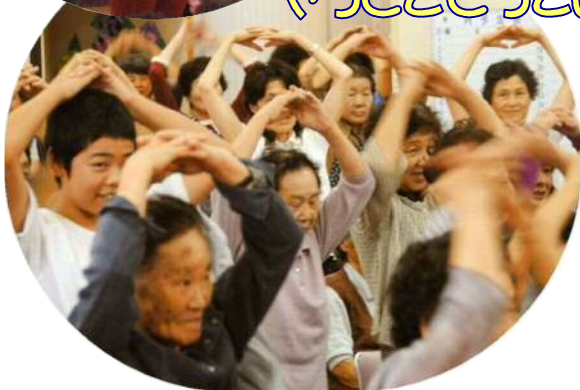
それ!

やっとこどっこい...



「こどもステージ」でオープニング

今年も小学生の元気いっぱいの歌声が、
会場に花を添えました。



『王滝 それ! やっとこ体操』が登場!!

役場の保健師さんによるオリジナル健康体操
では、「おさるのかごや」の歌に合わせ、
会場全体で楽しく体を動かしました。

いらっしやいませ! 小中学生が
各コーナーのお手伝い。子ども
も大人も一緒になってイベント
を盛り上げました。





松本市にお住まいの男性コーラスグループ「ひろはコール・ワタ」の皆さん。メンバーはなんと、ほとんどが八十代。なつかしい童謡や唱歌の数々を披露され、会場のみなさんも一緒に口ずさみました。その歌声に圧倒され、老いも若きも元氣とパワーをいただきました。

歌声 輝 80代



おなじみの王寿会の高齢者の皆さんの手芸作品。毎年、「ほっ！」とさせられますね。

輝います! 高齢者

「お年寄りが元気な村は、みんなが元気になれる・・・。」

今年度の福祉・健康の集いでは高齢者の皆さんにスポットを当て、いきいきと輝いている元気なお年寄りを紹介するコーナーなども設けられました。



防災について
見つめ直そう!

東北地方をはじめ東日本各地に甚大な被害をもたらした大震災。今年は、日本全国、長野県内でも多くの大規模な自然災害に見舞われました。

会場では、非常時の持ち出し用品を自己チェックするコーナーや、非常食の紹介コーナーなどが設けられました。改めて災害への備えについての認識を新たにすると共に、村全体での防災対策の重要性について考えさせられた一年でした。



男性高齢者に昔のおもちゃづくりを教わり始めた、「ふれあいアトリエ クシオン」。十年目を迎えた今年は、竹をつかった風鈴づくりでこともちと交流しました。

や めう 気張っ



会場では、地震で被災された東北地方のお役に少しでも立てればと、現地の方のご協力もいただいて東北物産展が開かれました。

「心」元気に
心のゆとりや潤いについて見つめ
直そうと、体験や展示による企画
コーナーも設けられました。



「いらっしやいませー」中学
生のお姉さんが、作業所の
クッキー販売のお手伝い。



9月2日 24年度

あなたの願い、私の想い

つなげよう心とこころ

福祉・健康の集い!



第23回

屋内ではさまざまな団体による作品展示や
チャリティー販売などが行なわれました。

今年度の福祉・健康の集いには、300名と村内の3人に
1人の方が参加され賑わいを見せました。子どもから高齢
者まで、その多くの方が個人や団体で、ボランティアとし
て、また作品や品物の提供などさまざまな形で自ら参画さ
れ、ともに作り上げる集いの場となりました。



楽団ケ・セラ
スペシャルコンサート

「ケ・セラ・セラ!」なんとかなるさ・・・

松本市から、知的発達障害をもつメンバーだけで構成
された楽団ケ・セラの皆さんが出演。純粋な音色と
ひたむきな演奏に会場全体が思わず聴き入り、「あた
たかい空気」に包まれました。

おしえて!
吉田先生

健康、
笑顔
地域

ふれあい
ステージ

小学校の子どもたちが
大きな声で、精いっぱい
歌う姿に元気もら
いました。



こどもステージ



「健康クイズ」にチャレンジ!
病気や健康についてともに考え
ました。

『笑顔とあいがとうの魔法』

～健康でしあわせに生きるために～

記念講演



現代の世の中は競争社会です。「いじめ」や「格差」などの問題や、さまざまな悩みやストレスを抱えている方も多くいます。そのような中、健康でしあわせに生きるために、「笑顔」のエネルギーや「言葉」のもつ不思議な力などについてお話しいただきました。

(はじめに)

笑顔になるために必要なものは、健康、お金、愛、人間関係…などの「運」。運を上げるために必要なものは「気」です。気は波動のことで、人は自分と同じ「波」の人と縁があるそうです。自分が変わることによって運気が変わります。本当に人生が変わるために必要なものは、努力ではなく「やる気」です。

(言葉のもつ不思議な力)

「言葉」は不思議な力を持っています。特に、心の中のことばが大切で、「言葉」を変えると人生が変わ

笑顔セラピーねっと代表・心理カウンセラー
野坂 礼子(のさか れいこ)さん

ります。悪い言葉には、悪いエネルギーが心に蓄積します。一方、プラスの言葉、中でも「ありがとう」が「さいます」という言葉や感謝法は人生を幸せにするパワーをもっています。

(笑顔のエネルギー)

うれしい、楽しい、しあわせ!、大好き!、ありがとう!・・・、人は「笑顔」で「安心」している状態だと、呼吸もゆっくりになり、心も体も「リラックス」して元気になる、色々なことで、より「成功」できるようになります。一方、イライラ、怒り、嫉妬、苦しい、さみしい・・・など、「不安」が多い状態だと、心身が「緊張」して自律神経のバランスが崩れ、病気になるたり「失敗」が多くなります。

(おわりに)

自分のことを大好きになると、「安心」サイクルになりプラス思考になります。そして、「相手のために笑顔になれる」かが大切です。



(下) いっしょに連れ添って、楽しそうですね。屋外の販売コーナーで。



(左) 郡内より障がい者の就労支援施設の皆さんが参加され、中学生が販売のお手伝い。ふれあい、ともに学ぶよい機会ですね。

みんなで集って!

(右) ヨーヨー釣りに夢中。色々な人たちとふれあい、福祉の「場」に親しみ、小さな子どもたちも参加すること自体に意義があるのでないでしょうか!



(上) チャリティーマーケットで販売のボランティアさん。地域のみさんと笑顔で会話もはずみます。

25年度

第24回



棟居淳スペシャルコンサート

松本市からギタリストの棟居淳（むねすえじゅん）さんが友情出演。なじみの曲を口ずさみながら、やさしい音色に聴き入りました。



笑顔でつながろう！

（上）小学生の元気な歌声。今年のステージは、こどもからお年寄りまでが一体となり、和気あいあいと笑顔が溢れました。

（下）ふれあいゲームではピエロのお姉さんが登場！会場がひとつになり、笑いの渦に包まれました。



ふれあい
ステージ

『気配い』で 9月8日 笑顔いっぱい、あったか地域！ 福祉・健康の集い！

24回目を迎えた福祉・健康の集い。今年は「気配り」をテーマに開催され、互いに違いを認め合い、思いやりにあふれるあたたかい地域づくりについてともに考えました。



（上）異なる価値観を知って、あなたの“世界”を広めよう！と題されたコーナーでは、手づくりの異国スイーツも並べられました。



ふれあいアトラクション（上）おじいちゃんたちが一所懸命つくった手づくりゲーム。名付けて“にこにこボード”に子どもたちは夢中！



（右）郡内作業所やチャリティー販売のコーナー
（左）屋外の出店

陰に日向に数多くの皆さんが参加、又協力され、ひとと人の心のつながりを改めて実感する一日となりました。

